

# 日本大学法学部がわかるマガジン Journal

ジャーナル  
vol.27

2019 April ▶ September

Journal  
27



特集  
日法のゼミナール

## 特集 日法のゼミナール

学科にとらわれず興味のあるテーマで選択できる  
法学部全ゼミナール一覧



2019 April ▶ September

## 日本大学法学部 Event Schedule

4月~9月

就職指導課	研究事務課	教務課		学生課				
		図書館事務課	大学院事務課		入学センター			
<b>4</b> April	4月上旬~5月上旬	課外講座資格別説明会			4月 1日(月)~5日(金)	開講式・新入生ガイダンス		
	4月13日(土)	1年向けキャリアプランガイダンス			4月 2日(火)・3日(水)	日本学生支援機構奨学金(予約採用者)説明会 ※高校で予約採用の申し込みをし、入学後に進学届の手続きをする者。		
	4月15日(月)	公務員講座総合ガイダンス			4月 3日(水)	新入生歓迎会 サークル新入部員募集		
	4月20日(土)	2年向けキャリアプランガイダンス			4月 3日(水)~6日(土)	学生定期健康診断(2号館) ※全学生が必ず受診すること。学年・学科・性別によって日程が異なります。		
	4月中旬~下旬	学生研究室説明会 (司法科研究室、司法書士科研究室、弁理士科研究室、 税理士科研究室、行政科研究室、公認会計士科研究室)			4月 8日(月)	入学式(日本武道館)		
	4月下旬	インターンシップガイダンス			4月 9日(火)	2019年度前学期授業開始		
<b>5</b> May	4月下旬~5月下旬	就職マナーガイダンス			4月上旬	日本学生支援機構奨学金(在学採用)説明会 ※新規に奨学金の申請をする者。 図書館7階ラーニング・commons東側フロア拡張		
	4月下旬	公務員業務説明会			4月15日(月)~19日(金)	図書館オリエンテーション		
	5月上旬	優良企業探し方ガイダンス			4月16日(火)~20日(土)	履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目)		
	5月中旬	第1回総合就職ガイダンス			4月29日(月・祝)	「昭和の日」は通常どおり授業を実施		
	5月下旬	リクルートファッションガイダンス メイクアップガイダンス 強み発見テスト 外国人留学生就職ガイダンス			4月30日(火・休)	臨時休講		
	6月中旬	TOEIC講演会			5月 1日(水・祝)~4日(土・祝)	臨時休講		
<b>6</b> June	6月下旬	問題解決力テスト 行政書士業務説明会			5月13日(月)・14日(火)	履修登録中止期間(前学期開講科目及び通年開講科目)		
	6月上旬				6月上旬	健康診断結果送付		
	6月中旬				6月22日(土)	ミニオープンキャンパス		
	7月上旬	夏休みキャリアプランガイダンス			7月 6日(土)	第1回法務研究科進学相談会		
	7月上旬~中旬	公務員業務説明会			7月14日(日)	オープンキャンパス		
	7月中旬				7月15日(月・祝)	「海の日」は通常どおり授業を実施		
<b>7</b> July	7月下旬				7月18日(木)	第2回法務研究科進学相談会		
	8月上旬	リスタートガイダンス			7月29日(月)~8月 3日(土)	前学期末試験期間		
	8月中旬	夏期合同企業セミナー			8月 5日(月)	夏季休業開始		
	8月下旬				8月27日(火)	第3回法務研究科進学相談会		
	9月上旬	第2回総合就職ガイダンス			8月29日(木)・30日(金)	前学期末追試験(1~4年)・再試験(4年)		
	9月中旬				9月12日(木)	夏季休業終了		
<b>8</b> August	9月下旬				9月13日(金)	後学期授業開始		
	9月上旬				9月16日(月・祝)	「敬老の日」は通常どおり授業を実施		
	9月中旬				9月19日(木)~25日(水)	履修登録期間(後学期開講科目)		
	9月下旬				9月23日(月・祝)	「秋分の日」は通常どおり授業を実施		
	10月上旬							
	10月中旬							
<b>9</b> September	10月下旬							
	11月上旬							
	11月中旬							
	11月下旬							
	12月上旬							
	12月中旬							

※ 就職指導課の各種イベント案内、追加については就職指導課、ポータルサイトで行います。  
各行事についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。 就職指導課(10号館2階) 研究事務課(5号館1階、学生研究室事務室は5号館2階) 教務課(本館1階) 学生課(本館1階) 図書館事務課(法学部図書館1階) 大学院事務課(13号館1階) 入学センター(本館2階)

2019年度についても保護者面談を実施いたします  
詳細はP11をご覧ください

東京会場 6月8日(土) 法学部神田三崎町キャンパス本館  
地方会場 10月12日(土) 仙台、新潟、長野、名古屋、宮崎の5会場

日本大学法学部がわかるマガジン  
**Journal**  
vol.27 2019 April ▶ September

http://www.law.nihon-u.ac.jp/ 詳細情報は、随時掲示板およびホームページで確認してください。  
本誌「日本大学法学部ジャーナル」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。  
http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/pr.html  
2019年4月1日発行 日本大学法学部広報 通巻135号 発行：日本大学法学部企画・広報委員会





学生生活をさらに充実させる

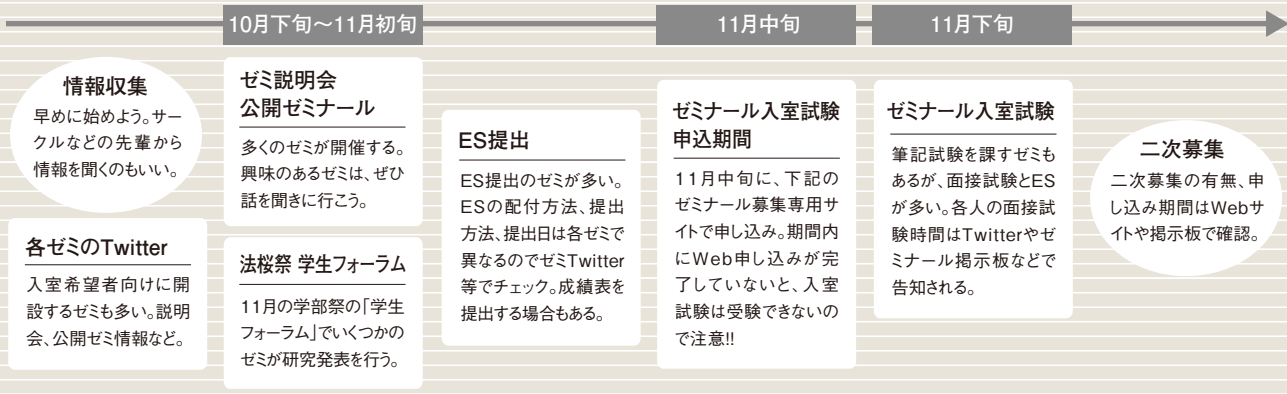
# 日法のゼミナール



3年生、4年生の2年間、ぜひ取り組んでほしいゼミナール。  
 小さなコミュニティで教員や仲間と重ねる時間は学生時代の宝物になるはず。  
 法学部では法律学系、政治学系、経済学系、新聞学系と約70ゼミナールを用意。  
 今回はゼミナールを管轄する学務委員会委員長の池田教授に  
 お話を伺うとともに、5つのゼミナールの活動内容をご紹介します。

## ゼミナール入室までの流れ(2年生対象)

秋からはゼミナール入室に向けてやる事が目白押し。  
 情報収集などは早め早めに動きだそう!



**本館1階 学生ホール ゼミナール掲示板**  
 各ゼミごとに募集要項などが張り出される。例年5月下旬より順次掲示される。説明会や公開ゼミの日程、面接試験の時間、さらにESが置かれているゼミもある。

**ゼミナール募集専用WEBサイト**  
 ゼミナール案内の閲覧、入室試験申し込み、合否発表  
 ●2019年度版は9月中旬より公開予定(2年生対象)  
<https://nulaw-selection.jp/seminar/>

ゼミナールに関する問い合わせ:教務課

## ゼミ選び&ゼミの意義を

### OB・OGに聞きました



ゼミ選びは、私は「先生」で決めました。それまで受けた講義の中で一番面白いと思ったし、人間的にもひかれるところがありました。就職活動でもESを見てくれたり、いろいろな相談にのってくれました。

新聞学科 2019年卒業  
**田島惇太郎さん**  
 三井住友建設株式会社



自分の何年か先を見据えて、よく考えてゼミを選びました。ゼミは組織で動くので、組織の中で自分がどう在るか学びました。社会に出るとチーム単位でミッションを課せられるので、小さな社会経験をゼミでできたと思います。

政治経済学科 2017年卒業  
**在原優子さん**  
 株式会社DAサーチ&リンク



ゼミのOBOGの方を見て、こういう人になりたいと思いました。ゼミではグループで何回も議論して、ひとつの研究を作り上げます。議論を通じて、自分の考えを相手に伝えることの重要性を学び、それは就職活動でも役立ちました。

政治経済学科 2018年卒業  
**米山友貴さん**  
 株式会社静岡銀行



ゼミ選びではできる限りいろんなゼミを見ていったほうがいいです。ゼミに入ってから良かったと思うのは、物事を考える力が身についたこと、自分の考えたことに対して行動できること。社会に出るとこの2つを求められますので。

法律学科 2011年卒業  
**富澤秀光さん**  
 ゼット・エフ・ジャパン株式会社

## 法学部での「自主創造」の集大成 1年生からゼミ選びは始まる

### 学科の枠を超えて 目的に合ったゼミを選ぶ

「日本大学教育憲章」には、  
 本学の教育理念「自主創造」の3つの構成要素、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を学生に身につけさせるといふ教育指標が掲げられています。ゼミナールはまさにその集大成。通常の授業とは異なり、学生が自分で考え、問題を発見し、解決していく。なかなか厳しい学修となりますが、だからこそ得られるものは大きいのです。

法学部のゼミナールの一番の特徴は、学科の枠を超えてゼミナールを選ぶことができる点です。そして実に多様なゼミナールが揃っています。少人数のゼミで学生自らがテーマを見つけ、研究発表をするのが中心ですが、外部調査などフィールドワークをしっかりとやるゼミ、多くの大学が参加する弁論大会等で毎年入賞を目指すゼミ、また公務員試験に強い、留学経験者が多いなど様々なゼミナールがあります。

その中から、自分が学びたい



学務委員会委員長  
**池田実 教授**

**Profile**  
 法律学科教授。担当授業は憲法I(人権)、憲法II(統治機構)、憲法A・B。自らも「憲法」のゼミナールを担当。2008年より現職。  
 1985年早稲田大学政治経済学部卒業、早稲田大学大学院政治学研究所(1987年修士課程修了、1992年博士後期課程単位取得退学)。

ことは何か、それに合ったゼミはどれなのかを、自分で動いて、実際に見て、選んでほしいと思います。とくにゼミの説明会や公開ゼミナールは現役ゼミ生が中心となって行いますので、授業の様子や先輩たちの雰囲気などがわかって、とても参考になると思いますよ。

ただ、ゼミナールは現状では学生全員が入れる講座数は用意されていないので、人気のゼミは競争率も高くなります。また、ゼミナールは3年生、4年生の2年間にわたって取り組み、4年生の最後にゼミナール論文を提出してから8単位の成績がつきます。途中で辞めてしまうと単位はとれないので、2年間しっかりと続けられるように、ゼミ選びは慎重に検討しましょう。

「自主創造の基礎」はゼミナールにつながる

1年生にとっても、ゼミ選びは先のことではありません。初年次教育科目として全員が履修する「自主創造の基礎」は、学生が自ら考え、行動することに主眼を置き、大学での学びの基礎を身につけてもらう、いわゆるアクティブラーニング型の授業です。これがゼミナールの授業形態に近いので、こういう学び方が楽しいと感じられれば、ゼミに入っても良い結果が出せるでしょう。「自主創造の基礎」で大学での学び方をしっかり身につけることが、ゼミナールで活かされるのです。

1年生の正課の授業で「この先生の講義が面白い」というのもゼミ選びのひとつの目安になるでしょう。また入室試験の際に成績表提出というゼミもあるんで1年生から一定の成績を取っておくことも大切です。

ゼミナールとともに苦難を乗り越えた仲間は生涯の友となりますし、教員との関係も通常の授業より親密なものになる。かけがえのない人間関係の中で、自分を高めていくのがゼミナールです。ゼミナールに入って、ぜひ大学生活を充実させるものにしてほしいと思います。



## ■法律学系

外国法	坂本力也ゼミナール	経営法学科教授	アメリカ法における主要判例について研究する。
行政法	小澤久仁男ゼミナール	法学学科准教授	行政法の理論と判例について研究を行います。
	高橋雅夫ゼミナール	法学学科教授	現実の行政活動に対する法によるコントロールの仕組みについて研究する。
	西原雄二ゼミナール	法学学科教授	行政法の諸問題について研究する。
経済刑法	岡西賢治ゼミナール	法学学科准教授	法的問題を題材としながら、判断能力や論理的説得能力を高める。
経済法	友岡史仁ゼミナール	経営法学科教授	さまざまな規制分野に関し、理論・事例の検討を行いながら法解釈の仕方を学ぶ。
刑事訴訟法	澤田康広ゼミナール	法学学科教授	刑事手続を理解する。
刑法	設楽裕文ゼミナール	法学学科教授	刑法理論と刑事実務の研究。
	西貝吉兎ゼミナール	法学学科専任講師	各自が調査報告等を主体的に行い、刑法学の研究の一端を体験することを通じて、法的思考力、アウトプットの能力等を高める。
	野村和彦ゼミナール	法学学科准教授	刑法の基礎理論を深く探究し、あるべき刑法の姿を追究する。
憲法	池田実ゼミナール	法学学科教授	憲法政治学的手法を用いて、憲法規範とそれが規制しようとする現実政治の動態との関係を明らかにし、憲法政策の提言を試みる。
	齋藤康輝ゼミナール	法学学科教授	「憲法は、人類の英知の結晶である」。比較憲法の視点を交え、生きた憲法を楽しく学ぶ!
	高畑英一郎ゼミナール	法学学科教授	憲法判例を読む。
	東裕ゼミナール	法学学科教授	日本国憲法は、その成立から今日に至る歴史の中でどのように解釈され運用されてきたかを分析し、これからのわが国の憲法のあるべき姿を考える。
国際公法	喜多義人ゼミナール	法学学科教授	現代の国際問題を法的に考え、理解する。
国際私法	中村進ゼミナール	経営法学科教授	国際私法・国際取引とその関連分野の理論と実際の研究。
国際法	河合利修ゼミナール	法学学科教授	現在の国際情勢を国際法の観点から考える。
社会保障法	橋爪幸代ゼミナール	法学学科准教授	社会保険や福祉問題、生活保護などの社会保障をめぐる法律問題について研究する。社会保障制度における政策提案や判例研究を行う。
商法	大久保拓也ゼミナール	法学学科教授	商事法の基本的な知識と法的思考能力の習得。
	小野寺千世ゼミナール	法学学科教授	裁判例の考察をとおして、商事法に関する基礎的知識を修得し、実際の問題の検討・解決を試みる。
	南健悟ゼミナール	法学学科准教授	商法分野における体系的知識の修得と、法的諸問題に対する適切な対応力の涵養。
税法	阿部徳幸ゼミナール	法学学科教授	「税」について語れる、マナーを持った社会人になることを目指します。
	黒川功ゼミナール	法学学科教授	現代の税金問題を理解し、法的に対処できる学識・リーガルマインドの養成。
知的財産法	柏川敏夫ゼミナール	経営法学科教授	知的財産法の基礎から専門能力を養い、企業や特許事務所などにおいて社会に出てからも役立つ実践力を身につける。
	加藤暁子ゼミナール	経営法学科准教授	知的財産法制の基本を学び、その国際的な影響の拡がり理解する。
	加藤浩ゼミナール	経営法学科教授	知的財産法の基礎知識とともに、専門能力の修得を行う。(企業や法律事務所等で役立つ能力の向上を目指す)
	金井重彦ゼミナール	経営法学科教授	著作権法を中心としたコンテンツ・ビジネスと法を考える。社会科学としての法律の学び方を習得する。この二つの目標を一緒に達成する。
	藤田晶子ゼミナール	経営法学科准教授	知的財産法の基礎を習得し、「模擬裁判」を体験することで、裁判所、特許庁や企業の実務の現場において知的財産法がどのように機能しているかについて認識を深める。
	三村淳一ゼミナール	経営法学科教授	知的財産権法、特に日米特許法に関する基礎知識を習得し、企業で活用できる能力を身につける。★
ドイツ法	玉蟲由樹ゼミナール	法学学科教授	ドイツ憲法に関する基礎知識の習得と日本法との比較。
倒産法	杉本純子ゼミナール	法学学科教授	倒産法を学びながら、社会における倒産手続・事業再生の必要性について理解を深める。★
法学	松島雪江ゼミナール	法学学科准教授	法哲学的な見地から、法にまつわる諸問題の考察を行う。
民事訴訟法	小田司ゼミナール	法学学科教授	民事訴訟およびその関連分野(民事執行、倒産手続等)の理論と実務について理解を深める。
	吉田純平ゼミナール	法学学科准教授	民事訴訟法の論点について、他者との議論を通じて理解を深める。
民法	大杉麻美ゼミナール	法学学科教授	民法の基礎を理解し、現代的課題を認識し、自ら考え、結論を導く力を身につける。
	加藤雅之ゼミナール	法学学科教授	民法の研究を通じた問題発見能力・論理的思考能力の向上。
	清水恵介ゼミナール	法学学科教授	民法の研究を通して法的判断能力を身につける。
	田中夏樹ゼミナール	法学学科専任講師	民法の研究を通じ、資料の調査方法・法的思考能力を身につける。
	野中貴弘ゼミナール	法学学科専任講師	多様な観点から思考しつづけることの楽しさを伝えたい。

民法	長谷川貞之ゼミナール	法学学科教授	近代市民法の原理や法解釈の多様性、民事立法学、比較法的な視点に立った諸外国の民法典について学ぶ。
	藤村和夫ゼミナール	法学学科教授	民法の勉強を通じてものを考えることの面白さを体得したい。
	矢田尚子ゼミナール	法学学科准教授	判例研究を通して、法的思考を身につける。
労働法	大山盛義ゼミナール	法学学科教授	今現在も働きつつ、困っている人、悩んでいる人、希望を失いそうになっている人の視線を想像しながら労働法を学んでみる。

## ■政治学系

政治制度論	荒井祐介ゼミナール	政治経済学科准教授	国内外の政治制度や政治機構の仕組みについて深く理解し、それらの制度や機構が政治行動にもたらすダイナミズムを明らかにする。
行政広報論	岩井義和ゼミナール	公共政策学科准教授	行政広報を中心に、行政と市民のコミュニケーションを通じてのそれぞれの役割と必要なマネジメントを習得する。
比較政治学	岩崎正洋ゼミナール	政治経済学科教授	世界の政治(政治制度や政党、選挙など)を比較し、今の日本政治が抱えている問題とは何か、それを解決するにはどうしたらよいかを考える。★
行政学・地方自治論	賀来健輔ゼミナール	政治経済学科教授	「サステナブル(持続可能)な自治体」はどうやったら可能か? 「環境」・「公正」・「参加」をキーワードに住民目線で考えていく。
現代行政論	上村進ゼミナール	公共政策学科教授	近年重要性が増しているNPO、ソーシャルビジネス、住民参加組織等の活動状況を調査・分析し、官民連携・ネットワーク化が進化する現代行政の実態を研究する。
国際関係論	柑本英雄ゼミナール	政治経済学科教授	グローバル化した社会を、国家間国際関係だけでなく、多様なアクターの視点から「一般化」してその深層の意味を読み解く方法論を身につける。
西洋政治思想史	杉本竜也ゼミナール	政治経済学科准教授	政治学・政治思想に関する知識や社会人に求められるスキルだけでなく、良識と良心をそなえた市民として必要とされる規範意識を身につけることも目標としています。
日本政治史	中静未知ゼミナール	政治経済学科准教授	日本の政治史に関する知識と理解を深めること。誰が読んでも理解できる文章(論文)を書けるようになること。
都市政策	福島康仁ゼミナール	公共政策学科教授	都市政策の理論と実際を研究する。
政治哲学	松元雅和ゼミナール	政治経済学科准教授	政治哲学の探求を通じて、現象の奥を見据える原理的思考を養い、政治の「今」と「将来」を批判的に構想できる市民・職業人を育成する。
ヨーロッパ政治論	三澤真明ゼミナール	政治経済学科専任講師	自ら課題を探し出し、課題に対する解決能力を身につけることで、社会で活躍できる人材を育成する。
公共政策論	水戸克典ゼミナール	公共政策学科教授	現代の公共政策の形成過程について学びつつ、その問題と課題について自分の言葉で説明できるようになることを目標とします。
社会福祉論	山村りつゼミナール	公共政策学科准教授	現代福祉社会における関連政策と社会の理解を深め、よりよい社会のための政策のありかた、つくりかたを考察する。★
国際政治学	山本直ゼミナール	政治経済学科准教授	国際政治のあゆみ・規範・捉え方をともに学びつつ、その成果を自ら発信する力と、これからの人生を能動的に生きるための感性を養う。
政治学原論	吉野篤ゼミナール	政治経済学科教授	政治を見る眼を養う。
西洋政治史	渡邊容一郎ゼミナール	政治経済学科教授	過去の欧米政治を研究して、反知性主義を克服する。

## ■経済学系

マーケティング戦略論	白井哲也ゼミナール	経営法学科教授	全国30超のゼミが出席する論文大会「IBインカレ」での常勝を目指すビジネス研究ゼミ。
財政学	川又祐ゼミナール	政治経済学科教授	経済・財政構造の変化は法や政治の変化に大きな影響を及ぼします。経済・財政の理解力を涵養することを目標とします。
経営情報	木川裕ゼミナール	公共政策学科准教授	経営情報システム・情報セキュリティ・ICT利用に関する諸問題について研究する。
会計学	小阪敬志ゼミナール	経営法学科准教授	わが国の企業を取り巻く財務報告制度やその理論的基礎を理解し、企業が公表する財務情報を読み解く。
国際経済論	横溝えりかゼミナール	政治経済学科教授	各国の経済・金融事情を分析することで、日本の企業や金融機関に求められる戦略について検討する。
経営戦略	若林広二ゼミナール	経営法学科教授	「戦略プロファイリング」のスキルを身につけて、企業や組織の経営戦略の全体像を理解する。

## ■新聞学系

日本ジャーナリズム史	石川徳幸ゼミナール	新聞学科准教授	ジャーナリズムに関する歴史研究。
比較ジャーナリズム史	小林聡明ゼミナール	新聞学科准教授	グローバルな空間で／歴史的な視座から、東アジアのジャーナリズムと社会の有り様について考える。★
表象文化論	小林義寛ゼミナール	新聞学科教授	メディア文化・情報文化を中心にポップ・カルチャーを理解する。
メディア社会論	佐幸信介ゼミナール	新聞学科教授	フィールドから社会を掴まえる。歩きながら考える、そして、社会についてのことばを獲得する。
メディア法制	笹田佳宏ゼミナール	新聞学科准教授	メディア、情報流通に関わる研究。
現代メディア社会論	柴田秀一ゼミナール	新聞学科教授	現代の既存メディアをはじめ、WebやSNSから発信された事柄と実社会との関係、その事柄が実社会に与える影響やその責任について分析する。
新聞学・ジャーナリズム倫理	塚本晴二郎ゼミナール	新聞学科教授	「ジャーナリズム」全般にわたる研究。
情報コミュニケーション	平井智尚ゼミナール	新聞学科専任講師	情報メディアの利用やコミュニケーションに関する研究。
映像ジャーナリズム論	米倉律ゼミナール	新聞学科教授	放送メディア、テレビジャーナリズムが現代社会にもたらしたものの、その功罪を多角的に探究する。

●2019年4月1日現在 ★印のゼミナールはP6～10でご紹介しています。





## 岩崎正洋 教授

### Profile

政治経済学科教授。担当授業は比較政治学、政治学原論、政治経済理論特殊講義、現代政治理論。2008年より現職。東海大学大学院政治学研究所博士課程後期修了。博士(政治学)。日本政治学会理事、日本比較政治学会理事。

## 岩崎ゼミナール 比較政治学

世界や日本の政治を比較し、政治学の理論を学ぶ  
学生目線から政治の現実と理論を考える

学生目線で政治の現実と理論を学ぶために、グループワークとフィールドワークを通じて、普通の大学生が普通の感覚でモノを見て、感じて、考えることにより、政治が自分たちにとって身近なものであるという事実を経験的に学んでいくことを重視しています。

選挙の際は投票所で出口調査を行い、老若男女すべての一票が積み重なって民主主義を支えていることを自分の目で確かめます。合宿では学生数名で1チームとなり、何チームかに分かれて連立政権をつくる

ためのシミュレーションを行い、政治が予測不可能なものであることを知ります。他にも、自分たちの考えた政策のアイデアをもって学会へ参加し、他大学の学生や先生方と意見交換をすることで、広く学外に目を向けるようにしています。

ゼミ活動のすべてにおいて、自分の目で見て、心で感じて、頭で考えて、行動することは最終的に、学生時代の成長につながると思います。



グループワークを中心に研究を進めていく。昨年は法桜祭「学生フォーラム」で研究発表を行った。

3~4人の班ごとに比較政治学のテキストの内容をレジュメとスライドにまとめて発表しています。世の中の様々な話題について一人一人が意見を求められることも多いです。

法律学科4年  
13期ゼミ長 鈴木智朗さん



研修合宿は春と夏の2回。春合宿では、チームごとに自分たちが考える政党のマニフェストを作成して発表する。



岩崎ゼミは政治学を広く取り扱うので、政治家を目指す自分が学びたいことと一致する部分がありました。先生の「ゼミは学生の成長の場」という考えにも共感しました。

政治経済学科4年  
13期副ゼミ長 鈴木瑛祐さん

### Seminar DATA

開設/2006年 在学生数/3年生14名、4年生11名

卒業生の主な就職先・進路/政治家、政治家秘書、公務員(官僚)、金融、商社、建築、不動産、製造、メーカー、食品、マスコミ、大学院進学、ほか

#### 入室要項

募集人員/10~15名程度 選考方法/面接およびエントリーシート  
Twitter/@IwasakiSeminar

先生からのメッセージ/自分自身が学生生活を通して「成長」したいとか、まだ「成長」できると信じている人に入室してほしいです。そんな人にとっては、「今しかできない、自分しかできない、ここでしかできない」とことめぐり会えると思います。



## 杉本ゼミナール 倒産法

債務者に再スタートの機会を与える倒産法  
社会における倒産手続・事業再生の必要性を学ぶ

倒産手続は、倒産状態に陥った債務者の債務を整理して、経済的に新たな再スタートの機会を与える手続であり、それを規定しているのが倒産法です。具体的には破産法や民事再生法などがあります。

倒産の世界はよく「法律のつぼみ」と言われます。倒産というのはそもそも通常通りに営業してきた企業が陥る緊急事態ですから、取引先との契約関係や労働者との雇用関係、ビルなどの貸貸人との契約関係、その他滞納している税金などについて、倒産手続が始まるとどのように対処するのか考えな

ければなりません。債務者が個人の場合でも同じです。したがって、倒産法を理解するためには、破産法や民事再生法以外にも、民法・会社法・労働法・税法なども関連してきます。こう言われると、学習が必要な範囲が広く、倒産法の学習に躊躇してしまうかもしれません。しかし、様々な利害関係を有する債権者たちの利益を調整しながら、どのように債務者の換価財産を分配するのが最善かを考えるのは倒産法学の魅力です。特に弁護士や金融機関への就職を目指す方には、倒産法は重要な法律だと思います。



## 杉本純子 教授

### Profile

法律学科教授。担当授業は倒産法Ⅰ・Ⅱ、法学Ⅰ。本学助教、准教授を経て2019年より現職。同志社大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。これまでに、司法試験予備試験審査委員(民事訴訟法)、裁判手続等のIT化検討委員会等。



ゼミ説明会ではゼミ生たちが「倒産手続とは」などを説明。



4年生のゼミナール論文。テーマは「倒産と労働者の保護」「中小企業における事業再生スキーム」など。

夏合宿@日本大学箱根仙石原寮。3年生は判例研究、4年生はゼミナール論文の中間発表。箱根観光も。

倒産法は3年生からの授業なので、1・2年生は触れる機会が少ないと思います。でも倒産は意外と身近にあるもの。残された従業員や負債がどうなるか、倒産して終わりでないことがわかります。

経営法学科4年  
7期ゼミ長 今村謙吾さん



グループワークを通して判例研究の進め方を学び、個人発表を行います。金融系で働きたい人などぜひ勉強してほしい。先生がしっかりフォローしてくれて理解を深められます。

法律学科4年  
7期副ゼミ長 岩崎史歩さん



### Seminar DATA

開設/2012年 在学生数/3年生11名、4年生10名

卒業生の主な就職先・進路/金融機関、民間企業、公務員、法科大学院進学、ほか

#### 入室要項

募集人員/10名前後 選考方法/面接およびエントリーシート  
Twitter/@sugimotozemi810

先生からのメッセージ/倒産法や事業再生に興味のある方なら、まだ知識がなくても大歓迎です。一緒に楽しく勉強しましょう!





## 三村淳一 教授

### Profile

経営法学科教授。担当授業は知的財産法A(特許・実用新案)Ⅰ・Ⅱ、法律外国語BⅠ・Ⅱ。中央大学理工学部、同法学部、米国ジョージワシントン大学ロースクール(知的財産権法専攻)卒業。米国弁理士(1996年登録)。2010年より現職。

## 三村ゼミナール 知的財産法

日米特許法の基礎知識を身につけるとともに、実際にアメリカへの特許出願も体験する！

知的財産法は、知的創造物を保護する特許法・実用新案法・意匠法・著作権法等、および企業の信用を保護する商標法・不正競争防止法等から構成されます。三村ゼミでは、この中から特許法、実用新案法を中心に、基礎知識を身に付け、判例を調べ、研究発表と討議を行います。

特許は国ごとの登録なので、たとえば米国に進出する日本企業は米国の特許に依拠します。そこで三村ゼミでは米国特許法の研究とともに、学生に実際に米国への特許出願を経験してもらいます。

グループごとに、特許出願する発明のアイデアを出し、同様の特許がないか調べ、英文で特許出願書類を整えてインターネット経由で米国に出願するまで、すべて学生が主体となって行います。審査終了まで時間がかかりますが、一定期間を経過すると米国特許庁の公開公報にメンバーの名前付きで出願書類が一般公開されるので、在学中に確認することができます。これは就職活動の際に、学生時代の実績として提示できるでしょう。ぜひ三村ゼミで挑戦してほしいと思います。



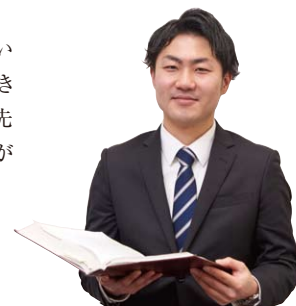
11月の法検祭「学生フォーラム」にて研究発表を行う。

2018年7月に米国特許出願を行った「二重構造型チューブ」が、同11月に米国特許庁公開公報に掲載。発明者としてメンバーの名前も載る。

合宿は夏と冬の2回。グループ発表や卒論の説明を行う。今年の冬合宿は軽井沢へ。みんなでスキーやボウリングも楽しんだ。

米国の特許出願を学生が行うという、他では体験できないことができます。米国弁理士の資格も持つ先生が、学生の自主性を尊重しながら丁寧に指導してくれます。

公共政策学科4年  
3期ゼミ長 小貫涼さん



私は知的財産法の知識は全くなかったのですが、ゼミで米国特許の知識を深め、仲間達と米国特許出願を完了。学生時代にこれを成し遂げた、その結果を形として残せました。

政治経済学科4年  
3期副ゼミ長 福田佳子さん



### Seminar DATA

開設/2016年 在学生数/3年生18名、4年生18名  
卒業生の主な就職先・進路/JR東日本、花王、(株)WI、大学院進学・留学、ほか

#### 入室要項

募集人員/15~18名 選考方法/面接およびエントリーシート  
Twitter/@mimura\_seminar  
先生からのメッセージ/特許法に関してあまり知識がなくても心配無用。一から勉強しましょう。米国のロースクールへの留学や、大学院への進学を考えている人も歓迎します。

## 小林ゼミナール 比較ジャーナリズム史

グローバルな空間で／歴史的視座から、東アジアのジャーナリズムと社会の有り様を考える

本ゼミナールは、「比較ジャーナリズム史」という「看板」が掛かっています。それは、何に取り組むゼミナールなのでしょうか。そもそも私たちが暮らす社会には、ありとあらゆる問題が存在しています。その多くが、私たちの目には見えにくく、重要な問題ほど不可視化されています。それらは、どこにあり、いかなるものなのでしょうか。どのようにすれば、問題を克服し、よりよい社会の実現に貢献することができるのでしょうか。

本ゼミナールでは、こうした問題意識に

立ち、「比較」とジャーナリズム「史」という観点から、東アジアにおける社会の諸問題を捉え、考えることを目的としています。それは、グローバルな空間で／歴史的視座から、日本を含む東アジアの社会問題について、ジャーナリズムの可能性に注目しながら分析することで、私たちの未来にとって、何らかの知的貢献を行おうとするものです。

これまで沖縄基地問題報道、原発報道、冷戦とプロパガンダ、心理戦などについて研究してきました。



## 小林聡明 准教授

### Profile

新聞学科准教授。担当授業は比較ジャーナリズム史、グローバルコミュニケーション、地域コミュニケーションAほか。専門は東アジア国際政治史/メディア・ジャーナリズム史。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。



11月の法検祭「学生フォーラム」での3期生の研究発表。「原子力/核」をテーマに発表を行った。

夏の研修合宿。4期生は東アジアにおけるアメリカの存在を考えるために沖縄へ。普天間基地や摩文仁の丘、琉球新報新聞博物館などを訪れた。



ゼミ生の代ごとに特徴があり、私たち4期は「冷戦期の心理戦とスパイ研究」がテーマでした。5期は留学生や留学を予定しているなどグローバルに活躍したい人が集まっています。

新聞学科4年  
4期 濱田滯水さん



1・2年生の授業で小林先生の講義を受けて、この先生ならと入室しました。文献を読んで自分がどう思ったかを議論するのですが、高いレベルで力をつけることができます。

新聞学科4年  
4期 野村円香さん



### Seminar DATA

開設/2015年 在学生数/3年生12名、4年生10名  
卒業生の主な就職先・進路/マスコミ、金融、建設、メーカー、ほか

#### 入室要項

募集人員/10名程度 選考方法/面接およびエントリーシート  
先生からのメッセージ/グローバルな世界で活躍したいという野心的な学生を歓迎します。そのためには英語以外の外国語もしっかりと勉強してください。日本語だけでは、地球上にある、僅かな知にしか触れられません。英語だけでも不十分です。複数の外国語を学ぶことで多様な知に触れることができますようになります。在学中に少なくとも英語プラス1の語学習得をお勧めします。



# 法学部の就職力

## キャリア支援行事や資格取得の課外講座など 1・2年生から取り組めるプログラムを活用しよう

### 就職指導課インフォメーション

**就職指導課を利用しよう!** 10号館2階

就職指導課を就職活動の拠点として積極的に利用しましょう。就活に関する個別相談、課外講座の相談・申し込みのほか、パソコンコーナー、先輩の活動報告書や公務員関連など各種資料の閲覧もできます。

利用時間 月～金 9:00～19:00 土 9:00～13:00

**相談コーナー**

就職活動の疑問や悩みなど様々な個別相談を随時受け付けています。ESの添削や面接対策なども行います。

**パソコンコーナー**

自由に使えるパソコンで情報収集やエントリーを。法学部で実施した各種ガイダンスのDVDも視聴できます。

**卒業後、多様な人々と仕事をするためには** ①主体性や目的意識 ②行動力・実行力 ③自己表現・コミュニケーション能力 ④柔軟性・協調性が求められます。これらの資質は大学生活では学校での友達や先生、アルバイト先等の様々な人との交流によって身につけることが可能です。また自分で新聞・ニュースやフィールドワーク等から身の周りで起きている社会状況を知り、様々な事柄に興味や疑問を持つことが大切です。

就職指導課では1・2年生から取り組めるキャリア支援行事を開催するとともに、資格取得を目指す課外講座も用意しています。個別でのキャリア相談も行っているの活用してください。

- 日大生のための就職支援サイト NU就職ナビ**
- 求人情報やセミナー情報、OB・OG情報などの入手、各種書類の届出など。必ず登録して就活に役立ててください。  
<https://recruit.nihon-u.ac.jp/>
- 課外講座 一資格取得や公務員試験をサポート**
- 就活に活きる各種講座を、学内で安価で受講できます。4月上旬から随時説明会を行うのでぜひ参加を。
- 法律分野(司法書士、社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士)
  - 会計分野(簿記(日商2級)、ファイナンシャル・プランニング技能士)
  - 教員講座(教員採用試験対策)
  - 就職対策講座(秘書技能検定、SPI3対策、日経講座「ビジネスの基本」)
  - 公務員講座(入門、地方上級・国家一般職、警察官・消防官)

## 就職にも有利 学生研究室で資格取得を!

万全の体制でサポート 6つの学生研究室

司法科研究室	税理士科研究室
司法書士科研究室	行政科研究室
弁理士科研究室	公認会計士科研究室

**第6回 公認会計士科研究室**

公認会計士試験の合格を目指す!

公認会計士科研究室は、公認会計士試験の合格を目標とする研究室です。公認会計士は企業の財務諸表と内部統制の監査を独占的に行う会計専門職です。資格取得後は監査法人をはじめ、企業の経理や財務関係業務などで活躍しています。

本研究室では、公認会計士試験の合格に向けて受験勉強を行っている学生に快適な学習環境を提供し、試験勉強のサポートを行います。公認会計士試験は国家資格試験の中でも難関と位置づけられていますが、本研究室では毎年合格者を輩出しており、在学中に合格する学生もいます。

**POINT 1** 大学に入ってから勉強を始めても大丈夫

習からスタートすることが一般的です。法学部には日商簿記検定2級を目指す課外講座があるので、まずはこの講座を受講しましょう。簿記の学習が進んだら、本格的に公認会計士の試験勉強を始めます。

各研究室への入室は、春の説明会と秋の入替試験(または受験面談)で受け付けます。入室料は、年間3千円です。入室試験や答練などの成績優秀者には、研究室内に専用の固定席が1年間貸与され、集中して勉強することができます(貸与基準は研究室ごとに異なります)。

●学生研究室に関する問い合わせ/学生研究室事務局(5号館2階) 学生研究室説明会が4月中旬に行われます。入室希望者はぜひ参加してください。



**Information 保護者の皆様へ**

**2019年度 保護者面談の開催について**

今年も保護者面談を全国6会場で開催いたします。個別面談の予約方法等、詳細については、法学部のホームページまたは保護者向けポータルサイトに掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

東京会場 6月8日(土)	地方会場 10月12日(土)
<p>法学部神田三崎町キャンパス本館にて開催。(午前の部:10時～12時、午後の部:13時30分～15時30分[予定])</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新入生の保護者向けガイダンスや専任教員による個別面談</li> <li>●留学・語学に関する相談(実施予定)</li> <li>●就職相談(実施予定)</li> </ul>	<p>次の5会場にて開催。(9時30分～12時30分[予定])</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仙 台 仙台国際ホテル</li> <li>新 潟 ANAクラウンプラザホテル新潟</li> <li>長 野 ホテルメトロポリタン長野</li> <li>名古屋 名古屋 Marriott アソシアホテル</li> <li>宮 崎 宮崎観光ホテル</li> <li>●専任教員による個別面談を実施する予定です。</li> </ul>

## 山村ゼミナール 社会福祉論

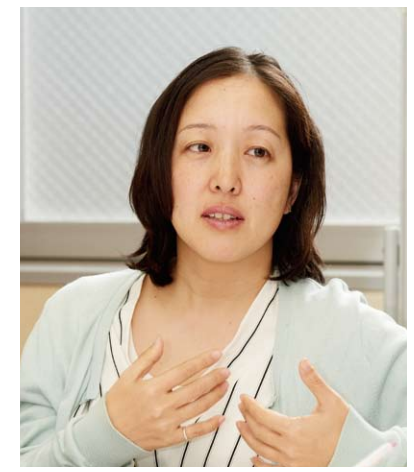
社会政策、社会問題や生活課題に対する政策的関与それぞれの研究テーマは学生が自由に選ぶ

山村ゼミの特徴のひとつは、学生の研究テーマが自由なことで、「社会的な問題である」と学生自身が考えるものであればどんなテーマでも構いません。テーマそのものよりも、きちんと問題を把握し、自らの問いを設定し、社会的な観点からその問題解決を考え、そしてそれを言語化できることが重要と考えます。

3年次の前半では、そのための方法などをグループワーク中心に学んでいきます。

後期からは個人のテーマを深めていきますが、次年度のゼミ入室試験や2月の春合宿での研究発表の準備などもあり、グループ活動も多くあります。

これらの活動や、メンター制度などを通じて学年内および学年間の交流を活性化し、山村ゼミでは学年内あるいは学年を越えた相互研鑽と学びを実現させることを目指しています。



**山村りつ 准教授**

**Profile**

公共政策学科准教授。担当授業は福祉政策、社会保障論、公共政策基礎演習、専門演習。専任講師を経て2019年より現職。同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。博士(社会福祉学)。社会政策学会ほか所属。

今年の春合宿は京都2泊。班ごとにフィールドワークや研究発表を行った。

山村ゼミは、様々な社会問題の中から、自分が関心あるテーマを自由に選んで研究できます。メンター制度で身近な先輩から書類作成の基本などいろいろと学べます。

公共政策学科4年  
3期 大浦晋平さん

**4年生のゼミナール論文 一例**

- 人口減でも地方に活力を 高齢者の新たな活躍に向けて
- 地域活性化における空き家の可能性
- スポーツくじ助成金の使途に関する提案
- ジェンダーバイアスに対するメディア・リテラシー教育の可能性
- 「地域における子どもの居場所づくり」が果たす役割と可能性
- 電子図書館は公共図書館(建物)の減少につながるのか
- 農産物輸出政策に関する検討—輸出政策の背景と政策の妥当性—

グループワークが多いので協調性が身につきます。和気あいあいとした雰囲気、真面目にやるときはやる、楽しむ時は思い切り楽しむというメリハリのあるゼミです。

経営法学科4年  
3期 宮田夏実さん



**Seminar DATA**

開設/2016年 在学生数/3年生14名、4年生13名  
 卒業生の主な就職先・進路/生命保険、ホテル業、地方公務員、日産自動車、バンダイナムコミュージアム、ほか

**入室要項**

募集人員/10名程度 選考方法/面接およびエントリーシート  
 Twitter/@thisisyourlives  
 先生からのメッセージ/テーマの自由度からもわかるように、山村ゼミでは学生が主体的に自分の意思で決定して活動を進めていきます。そのような意思や動機、興味関心などをもち、それをゼミで実現したいと希望する学生の入室を期待します。